



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社
 コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6459-0701

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	230,409	5.5	15,822	1.2	15,588	△0.9	11,070	△3.4
29年3月期第3四半期	218,372	1.8	15,638	24.5	15,730	52.1	11,461	79.4

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 12,170百万円 (147.6%) 29年3月期第3四半期 4,915百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	128.79	—
29年3月期第3四半期	133.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	275,670	163,264	57.5	1,844.29
29年3月期	272,109	155,480	55.4	1,753.54

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 158,531百万円 29年3月期 150,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
30年3月期	—	23.00	—		
30年3月期(予想)				23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	2.5	20,000	1.6	19,400	△1.6	13,000	7.4	151.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) 不二(中国)投資有限公司、 除外 1 社 (社名)
不二製油(肇慶)有限公司

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	87,569,383 株	29年3月期	87,569,383 株
30年3月期3Q	1,611,196 株	29年3月期	1,610,630 株
30年3月期3Q	85,958,568 株	29年3月期3Q	85,959,052 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢を受け、個人消費も緩やかに回復してきており、景気は緩やかな回復基調となっております。米国は雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しを背景に、景気は緩やかな拡大基調となっております。欧州はユーロ圏の個人消費拡大や設備投資が底堅く推移しており、GDP成長率の水準も高く、景気の回復は持続しております。中国経済は小幅な減速感あるも安定的に推移、新興国は総じて景気の持ち直し基調となっております。

この様な状況の中、当社グループは中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017年度～2020年度)における「コアコンピタンスの強化」「大豆事業の成長」「機能性高付加価値事業の展開」を主軸とした成長戦略を推進し、大きく変化する市場を捉え、成長する市場・強みを発揮できる市場に展開を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は2,304億9百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は158億22百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は155億88百万円(前年同期比0.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は110億70百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「大豆たん白」として表示していた報告セグメントの名称を「大豆」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(油脂部門)

国内市場では、フライ用油脂など採算を重視した販売により売上高は減収となりました。海外市場においては、米州・欧州でチョコレート用油脂などの販売が堅調に推移し増収となりました。利益面では、原料高に伴い採算性が低下し減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は868億99百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益(営業利益)は49億55百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内市場では、植物性クリーム製品の伸長があったものの、8月以降の天候不順の影響でのアイス用チョコレート等の販売落ち込みがあったこと、また、調製品は採算を重視した販売を継続していることもあり売上高は減収となりました。中国市場では、引き続きフィリング製品の販売が順調に推移しました。また、アジアおよびブラジル市場においても増収となりました。利益面では、国内での原料高に伴う採算性低下はあるものの、アジアおよびブラジルでの利益伸長により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,143億46百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント利益(営業利益)は85億20百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(大豆部門)

大豆たん白素材は、シリアル・健康食品市場向け販売が順調に推移しました。また、大豆たん白機能剤の飲料用途向けの販売が引き続き堅調に推移したことにより増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は291億64百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は23億46百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億61百万円増加し、2,756億70百万円となりました。

主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加87億11百万円、たな卸資産の減少39億46百万円、有形固定資産の増加25億87百万円、のれんの減少5億96百万円、投資有価証券の増加10億82百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ27億61百万円減少し、629億6百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加71億8百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億4百万円、為替換算調整勘定の減少3億19百万円等であります。

この結果、自己資本比率は57.5%、1株当たり純資産は1,844円29銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億22百万円増加、前第3四半期連結累計期間末に比べ9億86百万円減少し、130億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で61億48百万円増加し、168億69百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益157億74百万円、減価償却費80億12百万円、たな卸資産の減少額40億20百万円、仕入債務の増加額25億28百万円等による収入が、売上債権の増加額87億23百万円、法人税等の支払額46億59百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で29百万円支出が増加し、97億7百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出96億64百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で55億53百万円支出が増加し、69億17百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出50億65百万円、配当金の支払額38億68百万円等の支出が、短期借入金の純増加額11億53百万円、長期借入れによる収入11億20百万円等の収入を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月9日発表の業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	309,000	20,000	19,400	12,500	145.42
今回発表予想 (B)	300,000	20,000	19,400	13,000	151.24
増減額 (B-A)	△9,000	—	—	500	—
増減率 (%)	△2.9	—	—	4.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	292,547	19,694	19,712	12,105	140.83

通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計会計期間の実績および第4四半期の当社グループを取り巻く環境を考慮し、売上高および親会社株主に帰属する当期純利益を修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,762	13,014
受取手形及び売掛金	59,045	67,756
商品及び製品	24,740	22,690
原材料及び貯蔵品	27,657	25,761
繰延税金資産	1,435	1,074
その他	7,022	5,072
貸倒引当金	△209	△137
流動資産合計	132,455	135,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,047	35,018
機械装置及び運搬具(純額)	35,832	34,810
土地	15,093	14,890
建設仮勘定	4,059	6,893
その他(純額)	2,370	2,375
有形固定資産合計	91,402	93,989
無形固定資産		
のれん	12,898	12,302
その他	10,312	10,698
無形固定資産合計	23,210	23,000
投資その他の資産		
投資有価証券	16,103	17,185
退職給付に係る資産	1,023	1,299
繰延税金資産	312	355
その他	7,846	4,816
貸倒引当金	△245	△209
投資その他の資産合計	25,040	23,447
固定資産合計	139,653	140,437
資産合計	272,109	275,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,212	25,714
短期借入金	29,789	28,570
未払法人税等	2,511	1,450
賞与引当金	2,320	1,631
役員賞与引当金	64	—
その他	11,679	12,404
流動負債合計	69,576	69,772
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,878	24,335
繰延税金負債	4,587	5,157
退職給付に係る負債	1,867	1,916
その他	4,718	1,224
固定負債合計	47,051	42,633
負債合計	116,628	112,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	15,609	15,609
利益剰余金	119,251	126,359
自己株式	△1,749	△1,750
株主資本合計	146,320	153,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,484	6,288
繰延ヘッジ損益	41	112
為替換算調整勘定	29	△290
退職給付に係る調整累計額	△1,144	△1,005
その他の包括利益累計額合計	4,410	5,105
非支配株主持分	4,749	4,733
純資産合計	155,480	163,264
負債純資産合計	272,109	275,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	218,372	230,409
売上原価	172,182	183,099
売上総利益	46,189	47,310
販売費及び一般管理費	30,550	31,487
営業利益	15,638	15,822
営業外収益		
受取利息	484	347
受取配当金	193	175
持分法による投資利益	119	73
その他	633	382
営業外収益合計	1,431	978
営業外費用		
支払利息	562	583
為替差損	252	264
その他	524	364
営業外費用合計	1,339	1,212
経常利益	15,730	15,588
特別利益		
短期売買利益受贈益	—	348
投資有価証券売却益	1,030	705
特別利益合計	1,030	1,053
特別損失		
固定資産処分損	148	270
減損損失	41	27
関係会社清算損失	109	—
関係会社事業再構築損失	—	570
特別損失合計	299	868
税金等調整前四半期純利益	16,460	15,774
法人税、住民税及び事業税	3,621	4,024
法人税等調整額	925	248
法人税等合計	4,546	4,272
四半期純利益	11,914	11,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	453	430
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,461	11,070

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	11,914	11,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	804
繰延ヘッジ損益	1,740	72
為替換算調整勘定	△9,083	△321
退職給付に係る調整額	156	138
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	△25
その他の包括利益合計	△6,999	668
四半期包括利益	4,915	12,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,358	11,764
非支配株主に係る四半期包括利益	△443	405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,460	15,774
減価償却費	7,684	8,012
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△397	△275
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	240	214
受取利息及び受取配当金	△678	△522
支払利息	562	583
減損損失	41	27
関係会社清算損益(△は益)	109	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,030	△704
売上債権の増減額(△は増加)	△10,972	△8,723
たな卸資産の増減額(△は増加)	789	4,020
仕入債務の増減額(△は減少)	3,328	2,528
その他	315	663
小計	16,454	21,598
利息及び配当金の受取額	666	523
利息の支払額	△580	△593
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,819	△4,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,721	16,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,551	△9,664
投資有価証券の取得による支出	△56	△10
投資有価証券の売却による収入	1,441	1,465
関係会社の清算による収入	424	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	396	—
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による収入	—	32
関連会社株式取得による支出	—	△405
その他	△1,332	△1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,678	△9,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,033	1,153
長期借入れによる収入	2,423	1,120
長期借入金の返済による支出	△3,473	△5,065
配当金の支払額	△3,438	△3,868
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,452	△30
非支配株主への配当金の支払額	△312	△123
その他	△144	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	△6,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,874	△119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,195	124
現金及び現金同等物の期首残高	16,698	12,681
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	197
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△513	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,989	13,003

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、非連結子会社であった不二(中国)投資有限公司(旧社名:不二富吉(上海)投資有限公司)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、不二製油(肇慶)有限公司を新設し、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,170	108,234	28,968	218,372	—	218,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,939	528	587	13,055	△13,055	—
計	93,109	108,762	29,555	231,427	△13,055	218,372
セグメント利益	5,548	7,964	2,124	15,638	—	15,638

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	134,762	35,878	32,289	15,441	218,372	—	218,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	505	16,667	303	35	17,510	△17,510	—
計	135,267	52,545	32,593	15,477	235,883	△17,510	218,372
セグメント利益	9,921	3,545	1,375	860	15,703	△64	15,638

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ

米州：米国、ブラジル

欧州：ベルギー

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	86,899	114,346	29,164	230,409	—	230,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,334	412	303	13,051	△13,051	—
計	99,233	114,759	29,467	243,460	△13,051	230,409
セグメント利益	4,955	8,520	2,346	15,822	—	15,822

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 第1四半期連結会計期間より、従来「大豆たん白」として表示していた報告セグメントの名称を「大豆」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	133,775	41,271	37,824	17,538	230,409	—	230,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	240	16,454	126	19	16,841	△16,841	—
計	134,016	57,726	37,950	17,558	247,250	△16,841	230,409
セグメント利益	9,442	3,469	2,670	306	15,889	△66	15,822

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ
米州:米国、ブラジル
欧州:ベルギー